

MIMOZA WAYS

日本は憲法によって男女平等が保証されている。それなのに「女性は会議で発言が長い」と言われたり、医学部入試で点数が引かれていたり、そのようなジェンダーを理由にした差別が繰り返されているのはなぜだろう。そんなモヤモヤを抱えた現代の3人の女性たちが、1910年・1970年代にさかのぼり、女性の権利を知る旅に出る！



2020

ついにみんなの結婚年齢が18歳になり、2022年4月1日に結婚はジェンダー平等に。1898年から2022年...計算してみよう！コロナ禍のパリシャル・ドゴール空港での3人の女性たちの偶然の出会いと衝撃的な過去...高祖母（ひいおばちゃんのおばあちゃん）たちが友達だった？！

1910

青鞥って？ブルーストッキング？
編み物の本？

“元始、女性は太陽であった。今、女性は月である”平塚らいてうの言葉ではじまった、雑誌。女性作家による、女性のための文芸誌。彼女の登場で、まさに新しい女性の時代が到来したんです。女性が筆を走らせ、男性は震えた！



1970

「便所からの解放」という田中美津のビルで全国から女性が集まった。自分たちの身体について決定権を持ち、自分の生き方は自分で選ぶと声を上げた。女性は性に目覚め、男性は尻に火がつき怖気づいた！

オンデマンド配信予定

2/14 Sat 10:00 ~ 3/8 Sun 20:00

■配信チケット 2000円

日仏女性の人権架け橋ミモザ実行委員会

女性史の継承と発展を目指し、『ミモザウェイズ』の演劇公演、リーディング公演、映像上映会、ワークショップ、講演会など、ジェンダー平等社会に向けての、イベント企画・事業を、全国の自治体、男女共同参画センター、大学、団体と協働して企画・開催しています。

<https://www.woman-engeki.com>

劇場公演2026

1/29 Thu/木 19:00~

英語字幕/キックオフプレミアムトーク 18:30~(約15分)

1/30 Fri/金 14:00~18:30~

14:00はお子さん歓迎回(膝上鑑賞は無料)

1/31 Sat/土 14:00~18:30~

2/1 Sun/日 14:00~

再演振り返りポストトーク 16:15~(約30分)

・上演時間予定約100分/時間が変更になる可能性があります。ウェブサイトでご確認ください

■チケット(自由席/日時指定/税込)

一般:前売 ¥4,000/当日 ¥4,500

U25:障がい者手帳をお持ちの方:¥3,000(前売のみ)

シニア(70歳以上の方) ¥3,500(前売のみ)

ベア ¥7,600(前売のみ) VIP 10,000(座席ご案内)

■ご予約に関するお問い合わせ

日仏女性の人権架け橋ミモザ実行委員会

☎090-6207-2616

▽チケットぴあ
▽CoRich
▽Peatix
▽Theatre E9 Kyoto (QR)



■会場 〒601-8013 ☎075-661-2515
京都府京都市南区 東九条南河原町9-1



※観劇サポート 本公演では、車椅子席のご用意、聴覚障害のある方、聞こえにくい方のために、台本の事前貸出サービスを行います。お気軽にお問い合わせください。



協賛 DMG MORI



在日フランス大使館/アンステイチュ・フランセ日本/パリティ・カフェ京都 ジェンダー平等推進機構/ルネサンス・フランスーズ日本代表部 シニア女性映画祭/ウィメンズアクションネットワーク

提携 THEATRE E9 KYOTO (一般社団法人アーツシード京都)

協力 合同会社nochik アートコミュニティスペースKAICA

共同プロデュース MUZ ART PRODUCE

企画製作 翻訳 リポアル堀井 なみの

主催 日仏女性の人権架け橋ミモザ実行委員会



脚本・演出家 フランスより
来日決定! 12月14日~22日



トリニダード・ガルシア
脚本・演出
俳優・劇作家・演出家

フランスのバリ・コメディ・バステューコ劇場や、全国 ツアーで舞台上演を行っています。人の秘められた心と家族の物語を突き詰めることに情熱をもち、女性の人権に関わってきています。フェミニズムとは、より良い社会のために、男女が一緒に前進させるためのものだと考え、思いを継承するための手段として、ユーモアを選んでいきます。この舞台製作の目的は、なりたと思う女性像を演劇の中に登場させること。対立ではなく、共に前進するための解決策を見つけることです。



リポアル堀井 なみの

企画製作者・翻訳者

ジェンダー問題は、人権問題です。女性視点で作られた物語を劇場で上演するために、たくさんの方々がかわること自体が、ジェンダー平等社会の実現にむけての実践だと考えています。100年前の女性たちは何を考え、どのように生きていたのでしょうか。あなたが自身に近い登場人物の物語を見つけ、その物語があなたに力を与えてくれますように。

CAST



カルドネル ルウ



中谷和代
(ソノノチ)



黒木陽子

(劇団衛星/ユニット美人)



須川弥香

(おでこ)

STAFF

脚本・演出 | トリニダード・ガルシア

舞台監督 | 北方こたち、小林勇陽

照明・技術 | 木内ひとみ

衣裳 | 川口知美

映像プラン | 福岡想

音響プラン | 追野友希菜

演出補助 | 有吉玲

制作 | 渡邊裕史、永澤萌絵、椎葉美祐紀、平尾あゆみ

楽曲制作 | Enzo

写真 | フレデリック ムシェ Photo | Frederic Mouchet

フランス語翻訳協力 | コサ・アリーン、カルドネル・ルウ、山上優

英語翻訳 | Ruth Win、ジェニファー・ティーター、パルス・フランス

ミモザ実行委員会 | レベッカ・ジェニソン、山家悠平

脚本協力 | 黒沢久子

監修協力 | 進藤久美子、石田久仁子、三木草子、山家悠平

写真提供 | 白片市観光協会 岡村直史 お茶の水女子大学歴史資料館、

公益財団法人市川房枝記念会女性と政治センター、東北大学資料館、

兵庫県立美術館 山川菊栄記念会 文化学院蔵、松本路子